


第2章 いじめの未然防止

5 「学校行事」「生徒会活動」を通して（中学校編）

1 いじめ見逃しゼロスクール集会 ～個人のルール、学級の課題解決、全校の行動宣言を結ぶ～
 いじめの未然防止を図るには、生徒自らが課題を解決する力を高める必要がある。教師が適切に関わりながら、生徒が主体となる活動を仕組み、「〇〇中学校が最高だ！」と胸を張って言い切れる学校づくりを目指したい。やるべきことは、生徒が具体的な目標や目指す姿を定めて一丸となって取り組める活動づくりと、その継続による校風（精神的風土）づくりである。

○学校生活上の問題点から行動宣言を作る活動

<p>事前の実態調査を行い、問題意識の醸成を図る。</p>	<p>事前</p>	<p>ア 全校アンケート（生徒会本部が趣旨説明、質問項目を作成） イ 学級討議Ⅰ（各学級で現状について話し合う） ウ 代表者の会での討議（イの結果を基に学級代表が意見交換） ※全校の実態を把握し、全校宣言文の材料を集める。</p>
<p>生徒一人一人に所属意識をもたせ、時間をかけて丁寧に討議を行い、行動宣言が実効力のあるものにする。</p>		<p>本活動</p>
 <p>各学級の行動宣言発表</p>	<p>事後</p>	
<p>形式的な宣言ではなく、アンケートや振り返りを踏まえて、堂々と宣言、採択する。「〇〇中は最高！」と思えるようにしたい。</p>		

- 「個人、学級集団、全校」を結ぶため、生徒会本部（役員）が一貫して活動をリードし、学級討議や学級代表者の会の討議を仕組む。
- 「全校の行動宣言」ありきではなく、個人・学級の取組を受けて実施する。
- 中学校区の小学校と連携して、課題設定の段階から共催することも可能である。

2 学校行事でのいじめの未然防止 ～自己決定の場をつくり、異学年交流を活性化する～

学校行事は、生徒の人間関係を醸成し、いじめの未然防止に生かしていくことのできる重要な機会となる。上級生と下級生がかかわり合い（異学年交流）、行事に主体的に取り組む中で、リーダーやメンバーの役割、望ましい集団のあり方などについて主体的に考え、決定し、行動する場（自己決定）を大切にする。その際、表面的な関わりや平易な取組で収束させるのではなく、高い目標設定と困難や問題に正対し克服する場の設定、困難や問題を乗り越えて相互に讃え合う場の共有を大切にする。これらの経験は、望ましい集団への実感や、いじめをしない・生まない・見逃さない集団の形成へとつながっていく。

(1) 望ましいリーダーシップ・メンバーシップの醸成

リーダー選出に際して、ただ単に立候補、推薦を募って役割を当てはめるだけでなく、以下の役割を周知した上で、「自分はどのような学校行事にしたいか」を生徒一人一人が考え、それぞれの立場でどう集団に関わるかを相互に共有する機会とする。

- ①リーダーは、仕事を完成させることだけにとらわれるのではなく、活動過程における一人一人の積極的な関わりを促し、互いの良さを引き出すこと。特に困難やトラブルに直面した時、メンバー同士の理解や協力を生み出すよう働きかけること。
- ②メンバーは、リーダーの指示に従って自分の分担を果たすだけでなく、積極的に自分は何ができるかを考え、意見を出し行動に示すこと。自分と他者の意見の違いを考え、分かり合い、よりよい解決方法や折り合いの付け方を考えること。

<p>チームリーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> • どの軍よりも、どの人よりも運動会を最高に楽しむ。(OO) <p>応援部長</p> <ul style="list-style-type: none"> • 応援団長として青軍を引っ張り、声をしっかりと出す。(OO) <p>副部長</p> <ul style="list-style-type: none"> • 全員で盛り上げられるよう工夫する！3年生だからこそ、バカになって頑張る。最後、声が出なくなるまでやる。(OO) <p>応援リーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> • 誰よりも声を出す。最後の運動会、勝ちたいけど、その前に全力で楽しむ。(OO) <p>パナル係</p> <ul style="list-style-type: none"> • 全力で取り組み結果を残す。最後に悔いのないようにする。(OO) 	<p>会計長</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最後の運動会はあまり結果にこだわらず、みんなと元気に楽しみたい！(OO) <p>道具係</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「絶対勝つ！」その気持ちも大切にして、「祭り」がテーマで、最後の運動会なので楽しんでやりたいです。(OO) <p>みんな</p> <ul style="list-style-type: none"> • 中学生最後の運動会なので、声を大きく出してみんなを応援します。頑張ります。(OO) • 勝っても負けても悔いのないように全力を出す。(OO) • 役割のある人だけがやっても成功はしないと思います。僕も仕事もっていませんが、全力で行おうと思います。(OO)
--	--

教師は、思いを掲示やたよりなどによって発信し、全体の共通理解を図るようにする。

(2) 異学年交流を活性化させる工夫

体育祭では、3年生を中心に団を形成することが多い。応援練習を通して、上級生が下級生の応援歌やダンスの指導・支援をしている光景も多く見られる。下級生は、上級生の指導する姿から学び、得ることが多い。

この際に注意すべきことは、上級生やリーダーへの事前指導を念入りに行うことである。困難やトラブルに直面した際に、いちいち教師を頼るようでは生徒が自立しない。あらかじめ、何をいつまで、誰がどのように、など詳細を全体練習の前に打ち合わせておくことが必要である。教師は黒子に徹し、生徒に活動を通して成功感や成就感を味わわせることができれば、「OO中が最高！」と胸を張って言える集団形成が図れる。さらに、事後にはメッセージを交流して、互いの頑張りを讃え合い、活動を締めくくりたい。



- リーダー、メンバーの双方向の思いを共有させ、「自分はこの集団のために何ができるのか、何をしたいのか」を自己決定させる。生徒同士をつなぐ支援をする。
- 教師は陰から生徒の活動を支え、「自分たちでできた！」という成就感を味わわせる。